

事業所名: グループホーム南十字星

作成日: 令和4年 4月 30日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	○チームで作る介護計画とモニタリング 既存のアセスメントに加え、より深くご利用者の全体像を把握するとともに、ご本人の「困りごと」や「実現したい事」を盛り込んだアセスメントの強化を図る。	企業理念・事業所理念を再認識し、チームで認知症ケアを周知・実践できるようになる。	・アセスメント用紙の追加および勉強会の実施。 ・ご利用者一人ひとりの個別的な自立支援プラン項目の実践チェック表を用いて各個人の目標をスタッフ同士が情報共有しケアの統一化を図る。	12 ヶ月
2	11	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフの更なる教育や育成を行う機会を増やす。今年度より既存の690委員会(身体拘束・虐待)に加え、教育委員会・防災委員会・おしゃれ、広報委員会を発足。各委員会でより良い職場作りを目指す。	・各委員会で定期的に(1か月に一度もしくは2か月に一度)委員会を開催し、意見交流や取り組みの明確化を図る。 ・各委員会を通して勉強会を開催し、スタッフの更なる教育や育成に努める。	12 ヶ月
3	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組みを状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の場を大いに活用し、コロナの中でも地域密着型の地域交流や地域貢献の新しい形を考えていきたい。	・運営推進会議の参加者から地域の歴史や行事等を教えて頂き、事業所として何が出来るかの手掛かりを探していく。 ・地域の方たちに認知症やグループホームの役割を知って頂くために、地域へ出向き出張出前講座を実施する。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月